

インド訪問記 2025-11

11.1 土曜 出張前日

札幌は大雨。翌日からのインド出張なのですが、昨晚大学事務から未提出の書類があると連絡があり、その対応で朝から大学。帰りがけにヤマダで持ち運び用の軽いモニターを購入しました。今使っている可搬用のモニターは重くてね。朝から仕事をしたので明るいうちには家に帰れました。なかなかのんびりできません。インドは今までトラブル無しだったことがないので少々心配です。持っていく荷物をスーツケースに詰めて、あとはお土産を空港で購入すれば良いでしょう。知り合いの皆さんからは少し休んだ方が良くと言われるのですが、なぜかここにきて今まで色々取り組んできたり、ネットワーク作りをしたきたことが色々とお実を結びそうな状況です。後一息頑張っ、プロジェクト化して後輩に託すつもりです。そのためにも色々な方々を巻き込んでしまっており、ちょっと申し訳ないのですが、許してください。インドはもっとネットワークをきちんと作らないとプロジェクト化はちょっと難しいかなと思っていますが。

11.2 日曜

7:40の飛行機なので、朝は駅まで送ってもらいます。バスでは間に合いません。ちなみにそのような場合でも、出張費にタクシーは使えません。よくわからないルールです。帰りもそうですね。遅くなるともうバスはないのに、やはりタクシー代は出してくれません。なんでそういう事で苦勞をしなければならないのですかね？ちなみに琴似駅

と家は深夜・早朝は3000円以上かかります。と、愚痴も言いたくなるのですが、妻に送っていただけました。朝早くからありがとうございます。

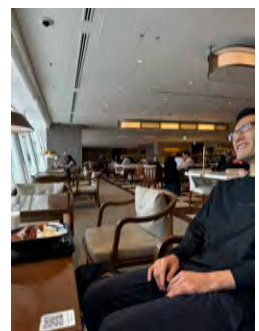
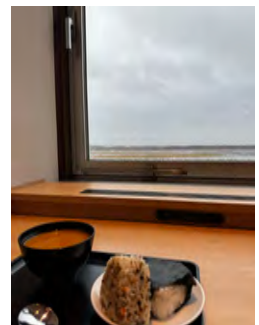
新千歳空港に到着したのが7:00。お土産を購入してカウンターでデリーまでの手続きをしてもらいました。慣れている方だったようであっという間に手続きをしていただけました。荷物もデリー空港まで直行です。で、スーツケースに入れていたネックピローを出し忘れました。。まあ、昼間の移動なので寝る予定もなかったので許容範囲です。まずは空港で朝食です。おにぎりが美味しい。

羽田に到着して、空港内のバスでターミナル3まで移動します。同行するPDも無事に羽田まで到着しているようですので一安心です。新しいパスポートは顔認証、出国手続きもすんなりできるのでストレスフリーです。朝早いせいなのか空いていました。

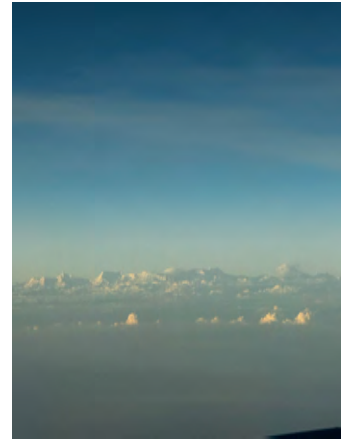
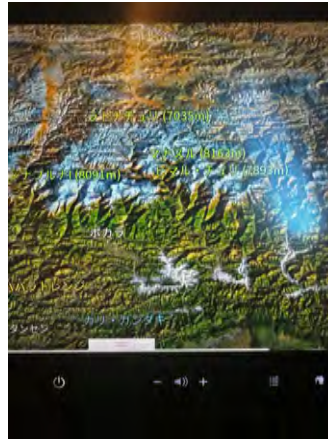
出国手続きを終えたところでPDと合流。ラウンジに連れて行ってあげました。来月1人で海外に長期間行く学生にラウンジでくつろいでいる写真を送ってみました（いじめ？てみました）。

搭乗時刻が11:20ですので、ラウンジも30分ほどで切り上げて待合室に向かうと、今回同行する京都府大の矢内先生が待っておられました。3名合流していよいよインドに向かいます。飛行機は満席です。出発時刻になっ

てもなかなかゲートから動かないのですが、案内で風向き関係で滑走路を変更する必要があるようで少し遅れると言う事でした。結局1時間弱待たされての出発になりました。滑走路は飛行機が列を作って待っていましたよ。デリーまでは中国上空を突っ切って行きます。それでも8時間ほどかかるので近くはないですね。途中でインターネットに繋がっていると、Whatsupでインド人から空港で待っているからという連絡がありました。前は迎えを忘れられて酷い目に遭いましたからね。しっかりお願いします。ただ、インド上空あたりからインターネット接続（衛星）ができなくなっていました。不便です。



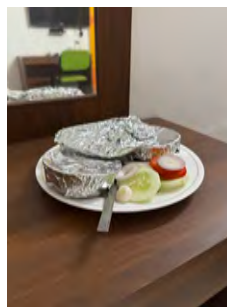
ニューデリーまで後1時間半のあたりから雲の上にヒマラヤ山脈が見えます。高い山々が延々と連なる様子は圧巻ですね。空の上からでもこれだけ感動するのだから、近くで見ればもっと違う風景なのでしょう。再来年のESAFSがネパールですので、是非とも近くをトレッキングしたいものです。と言うことはまだまだ元気でない。と。多分、アンナプルナI, II、ダウラギリといった山々が遠くに見えています。写真を何枚も撮ってしまいました。すごいですね。飛行機が飛んでいる高度と変わらないのですから（飛行機は11500m）。



インドにはほぼ定刻（1830）に到着。入国審査はインドパスポート、外国パスポート、e-VISAパスポートに分かれています。事前にe-VISAを取得しているので最初はe-VISAの方に並ぼうかと思ったのですが、手前の外国パスポートが空いています。とのことでそちらに並んで対応してもらいました。入管の方にe-VISAなの？と聞かれたので、ええ。と答えたとすんなり審査してもらって終了。荷物も無事に確保。と、他の2人がいません。待てど暮らせで出てきません。30分以上待って連絡するとなんでもe-VISAのところと並んでいたら、すごい混雑の上に処理が遅くて全然進んでいないとのことです。結局最後の1人は並んでいる列を離れて外国パスポートのところと並び直してすぐに対応してもらえたとのことで出てきました。が、すでに到着してほぼ2時間。今回はWhatupでインドの方から迎えに来ているよと何度も連絡があったので大変恐縮してしまいます。空港を出るとすぐに会えました。車は2台でお迎えです。（ちなみに今回は日本とインドの旅費だけで良いとのことで、それしか大学にも旅費申請をしていないです）



行き先は明日のシンポジウム会場とは異なる今回のメインのカウンターパートのHisar大学のゲストハウス？そんなことだろうと予想していたので自分には驚きはありません。途中で休憩。サンドイッチと紅茶。これでお腹いっぱいという感じです。が、話では到着先で人が夕食を待っているからということです。到着は？と聞くと23時、あるいは23時半。そんな時間から夕飯を待っている人達と一緒に食べるのは辛いと皆さん思っていました。お湯が出ないけどよくある事なので、水シャワーを浴びて寝ました。外で花火の音が聞こえていましたが、子守唄。



11.3 月曜（日本は祝日でした。道理で朝のメールが少ない）

こちらの415まで熟睡しました。朝食は8時からということでしたので仕事を6時までしてから、ちょっと外に走りに行きました。日の出が630ということで、まだだいぶ暗いのですがすでに道には人が歩いています。後、野良犬もたくさん。こういうところの犬は狂犬病が怖いので、あまり人がいないようなところは避けて大学構内を。

日の出は特に綺麗に見えませんでした。残念。

部屋に戻り水のシャワーを浴びて（お湯の電源をようやく見つけたが、オンにしてお湯を貯めてから使うタイプなので、結局冷たいままでした）、朝食です。朝食は8時から。



ゲストハウスの食堂にて。チャパティより

ちょっと大きめのパゴデ？というのはとても美味。これに卵焼き、マンガのピクルス、チャーハン？、ヨーグルト。コーヒーもお茶も無いのがちょっと残念でしたが、味は美味しくて、インドの良いところはやっぱり食事だと思います。

シンポジウムの詳細はいまだに不明でしたが、ようやくこちらの方にスタートは11時だと教わりました。1030に集合して車で行こうということで、1025には集合したのですが、声をかけてくれた人はいません。15分ほど待って歩いて行くことにしました。歩いても10分ほどでしたので、日差しが出てくると暑くなって来ますが、30度にはいっていない

かなという程度でした。会場はFaculty of culture science and human

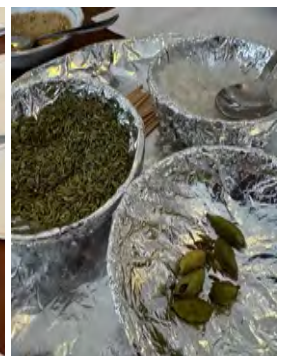
resourceだったかな。そんなに大きなシンポジウムにはなっていません。国際シンポジウムとはいうものの、海外からの参加者はフランス、トルコ、日本くらいでしょうか。まあ、いつもの内輪の国際シンポジウムです。会場の入り口には綺麗な砂で描いた絵が床に書いてありました。11時に到着したらまずは軽食。中庭にシートを敷き詰めて会場にした場所でした。



で、2時頃まではお偉いさん達のお話（研究の話ではない）と表彰式（これはお偉いさん達の表彰式）。プレゼントや白い布。そしていつもの盾。日本からの3名も盾をいただきました。重い。。

それから昼食。今度は車でFaculty Houseに連れて行かれます。ここは招待研究者やお偉いさんだけでテーブルを囲みます。あまりのんびりできないので、本当は学生さん達と一緒に会場でごちゃごちゃ食べたいところですが、やむを得ません。

右の写真は食後の口直し。カルダモンと何かと砂糖です。食後にこれを食べるとスッキリするということでした。



そしてようやく発表です。うーん。ポスターには面白いものも時々ありました。

6時前に一度ゲストハウスに戻り、シャワーを浴びて6時半からのシンポジウムの催しに参加します。インドはダンスですね。今回はパンジャブ地方のダンスチームを呼んだということで、ハリア

ナのダンスチームとは違うだろうと説明をいただきましたが、自分にはよくわかりませんでした。思いつくのは、あのオジサンのダンスが今回はなかったことかな。あのオジサンのダンスは今でも記憶に焼き付いて離れません。

1時間ほどの催しは学生達の大盛り上がりの中で終了し、そのあとは撮影大会です（被写体は自分達です。なぜか？）。学生、踊り子さん達（男性女性関係なく）と何枚も撮り続けました。そのあとは会場の夕食会場にて食事。まあ、昼と同じような内容で、特に目新しいものはありませんでした。同行している2人の方が食事に全く抵抗がないので助かります。

帰りがけに飲みに行きませんかと誘われたのですが、眠いのと明日の準備（明日が発表とやっとわかりました）があるので先に帰らせていただいたのですが、ゲストハウスに着くと今回のシンポジウムを企画して、自分達を招待してくれた方が部屋で待っているとのこと。体の具合が悪いのですが、わざわざ参加されています。その部屋ではフランス、トルコの方も来られていて、しばしウィスキーで時間を潰してから部屋に戻りました。22時くらいかな。ウィスキーはこの地域でしか販売してはいけないというブレンドスコッチでした。



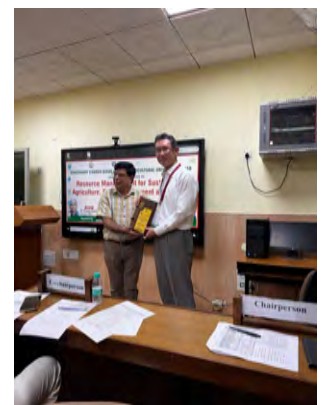
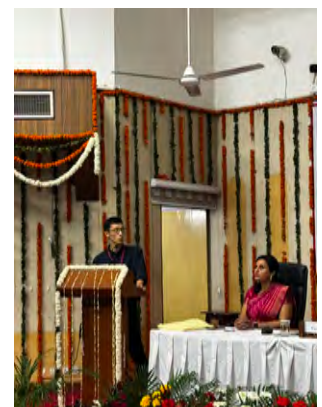
11.4 火曜日

最初のシンポジウムの最終日。今日は3人の発表が重なります。朝930からスタートとプログラムには記載がありますが、さてどうなるでしょう。

朝がたに大学の中で400mをトラックを見つけました。早朝からここでは沢山の人が走っていました。その他にも多分授業の一環で走り高跳びの練習なども行っていました（7時前）。太陽が昇るとすぐに暑くなるのですが、それまでは快適な温度です。朝食はシンポジウム会場だと教えてもらいました。

ゲストハウスではお茶だけ出してもらって歩いて向かいました。9時半開始だから朝食は8時半頃には用意されているのだろうと思いましたが、まだでした。（ほらね）実際に食事が用意できたのは9時過ぎ。でも朝食会場に来ている人はまだまばらです。もうすぐ開始だというのに。（ほらね）それでも朝食を食べて（カレーとチャパティとチャイ）シンポジウム会場に向かいます。930ちょうどになりましたが、まだスタッフがようやく数名準備を始めたところでした。（ほらね）

結局開始されたのは1040頃。それでもなぜか何事もなかったように会議は進みます。まずは内林さんの発表。彼の英語は本当に流暢です。PETISの試験結果を丁寧にまとめてくれました。ご苦労様です。同じ時間帯に矢内先生は別のセッションの座長です。小さな会場でしたが、その分発表者との距離が物理的にも近くて良い感じでした。ちなみに座長を担当すると盾がもらえます。



午前最後のセッションは自分が座長で自分と矢内先生の発表です。プログラムに間違いがあって、同じ時間に二つのセッションが同じ会場になっていました。急遽自分の担当のセッションの会場が変更になりましたが、参加者は皆さん普通に対応をしておりました。どこかでちゃんと情報が共有されているようですが、自分達には全く。自分の発表も矢内先生の発表も無事に終わり、座長の仕事も無事に終わりました。最後に良かった発表を副座長の人と選んで仕事終了。

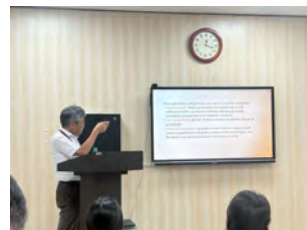
お昼は1時半頃から。

いつもの豆料理。今日はスイーツも丸いのは甘いシロップに漬け込んだ揚げパン。インドのスイーツ定番の一つです。そしてアイスクリーム。ババヘラアイスの赤色と同じ感じでした。

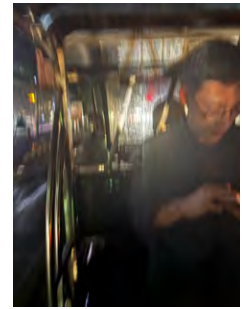
昼食も終わり、あとは最後のセレモニーです。会場に入ると揃って最前列に座るようにと誘導されて、あとは挨拶で終わり

ですよねなどとくつろいでいました。が、ふとステージを見るとステージ上に並んでいる席の一つに自分の名前が。。あー、またこういうことか。セレモニーが始まると前に呼ばれます。寝れないですね。流れに任せて行事をこなしていくしかありません。でも途中でスピーチを求められました（事前に何の相談もなし）。咄嗟に今度雑誌で掲載される土への謝罪の話をして作物栄養学としての土壌への考え方そして国際交流の大切さを紹介して切り抜けました？

本を頂いたり（重い）、ポスター賞と口頭発表賞での授与式に参加したりとその他の作業をして終了。ゲストハウスに戻り、しばし休憩した後3人で打ち上げに出かけました。ビール飲みたいですねということで、Googleさんに探してもらい、30分ほど歩いた先にあるお店（そもそもそういうお店があるところがそれくらい遠い）に行きました。City Barというお店でお酒と食事ができるとありました。お店の看板に電気はついていましたが、窓もなく、怪しい感じ満載でしたが、3人なのでここは思い切って中に入ると中も暗い。怪しいです。10テーブルも無いと思いますが、2組ほど先客がいました。中に入っていき席に座ると、メニューにビール！インドのビールで有名なKingfisherに巡り会いました。暗くてメニューは携帯のライトで照らさないと読めないのですが、ビリヤニ、タンドリーチキン、バターチキン？を頼みました。



途中二回も店主という方が出てきて、日本人かとか、ホテルまで送るよとか色々言うてくるのですが、ちょっと怪しくて遠慮させていただきました。結構飲み食いして3人で5千円くらいでした。インドではちょっと高めですね。外に出ると雨。雨の中を30分歩いて帰るのはちょっと辛いので、ちょうどそばにいたTUK TUKの運ちゃんに、大学の場所を示して乗っけてもらいました。当然のように怖い。大学のゲート（守衛さんいるけど）も特にチェックもなく通り、ゲストハウスの前まで送ってくれました。料金は？と聞くとちょっと悩んでから100ルピーとのこと。安いけど、今から思うとふっかけられてに違いありません。でも降りてしまえば楽しいインド TUK TUKの旅でした。



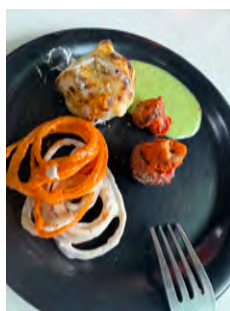
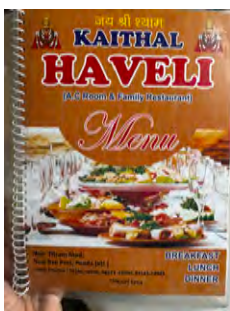
11.5 水曜 インドでは休日（グル・ナナック生誕祭）

移動日です。Mullana大学での講演のために約5時間の移動だとのこと。その前にHAUのVice Cancellorとの面会が10時からということでした。ところが何か今日は皆さんの対応がいつもにまして遅いです。10時過ぎに研究者の方からRishi Kumar Behl氏が亡くなったと連絡がありました。知らなかったのですが、昨晚から急に体調を崩されて入院されていたとのこと。昨日の朝に研究の打ち合わせをしたいと別の研究者を通じて連絡があったのですが、同行者の発表があるからと夕方が良いと伝えて延期してそのままでした。後悔しました。それでも一昨日部屋を訪問してご挨拶が出来たのがまだ良かったと思います。日本の研究者への受け継ぎも出来そうです。ご迷惑をお祈りいたします。



会議は11時頃から始まり、Behlさん事を皆で懐かしんですぐに終了しました。最後にご挨拶をして12時前には出発です。

Mullana大学までは先方の大学で助手をしているというArushiさんが付き添ってくれます。農学部の先生だったので道中色々この地域の農業のことや、今年の大雨の被害のことなどを教えてくれました。楽しいですね。Kaithalという街で昼食。他の車で移動しているフランス人、トルコ人の方とも合流しました。

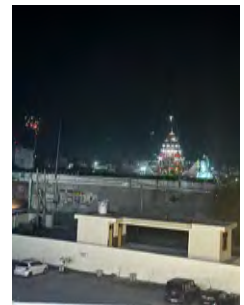


昼食のメニュー、前菜はキノコとカッテージチーズを焼いたもの。野菜、ヨーグルト。黄色はパンジャブの料理でカッテージチーズの野菜炒め。皆でそれぞれ頼んだものをシェアして（お店の人が最初から取り分けてくれます）食べました。最後はご飯にヨーグルト。。。

その後、水田に立ち寄りました。収穫が始まっているようですが、まだのところも結構あります。インディカのBasmatiという良い品種だということですが、生育は良くないです。実入も今ひとつで、いもち病も発生しています。終了は4トンいかないのではないかとということでした。

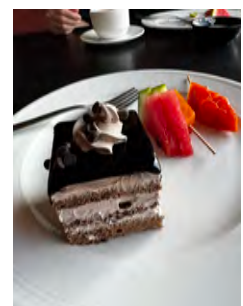
ちょうど生産者がやってきて、長雨でやられてしまったとのことでした。なお、施肥量はかなり多く（150kg-NPK全部で一エーカーに。大体370kg???）、そのことを指摘すると大学等で指導をしても農家が守ってくれないので困っているんだということでした。肥料価格の高騰はないのかと聞いたところ、高くはなったけどそんなでもないんだということでした。

Mullanaには暗くなってから到着しました。ホテルなのですが、なんとこのホテルは大学が運営するホテルだそうです。私立大学でホテル経営に関する部署（学生が勉強する）があるとのこと、スタッフは学生です。北大にも欲しいですが、そんな学部ないしね。外部委託でやってもらいたいことを思う次第です。部屋は広く、綺麗で、お湯も完璧です。ゲストハウスとは雲泥の違いで、今までインドではほぼ全てがゲストハウスあるいはそれに準じた場所だったことを思うと素晴らしいです。夕飯はホテルのレストランで皆さんと。夜は近くの寺院で遅くまで花火をやっていました。今日はお祭りですからね。窓からちょうど見えるのでしばし花火見学をしてから就寝。



11月6日

朝食前に付近を散策すると使用中のCDC（Cow Dunc Cake）の小山がありました。近くによって写真を撮っていると通りがかりの人にすごく怪しまれてしまいました（そりゃそうだ。なにしろ相手は牛のうんち）。藁で覆うのは雨で流されないようにするためだそうです。中は結構原型を留めていないですね。並べる時は円盤状に固めて乾かしてからなのですが、その状態はわかりません。どのくらいの間置いてあるのかも興味がありますね。ちなみに牛由来のものは全てを使うそうです。尿は薬理効果があるとして、それを飲む人もいます。インドでは牛が神格化されていますが（ヒンズー教）、もしぶつかったらどうするのかと後から知り合いに聞いたところ、警察に連絡をするんだということでした。わざとで無ければ罪に問われることはないそうです。普通の道にもたくさんいて事故が起こりそうですが、一般道ではほとんど問題はなく（交通の邪魔にはなっていると思うけど）、高速道路で問題になるとのことでした。ただし、牛をわざと殺すと大変なことになるということでした（肉にして売ることもあるそうです）。街中の牛はインド社会でも問題視されるようになっています。その場合の飼料は全て地域の住民が負担しているということでした。朝食はホテルで。ケーキまで出してくれました（日本で食べるケーキと変わ



らない味でした。舌触りも柔らかい）。

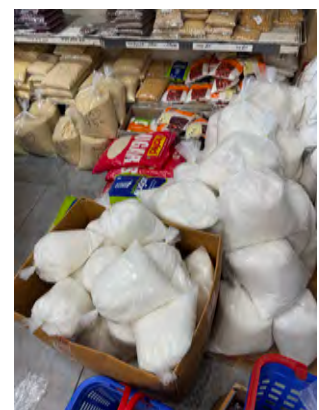
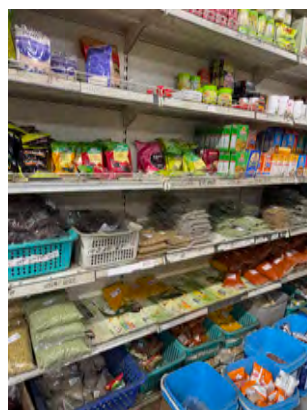
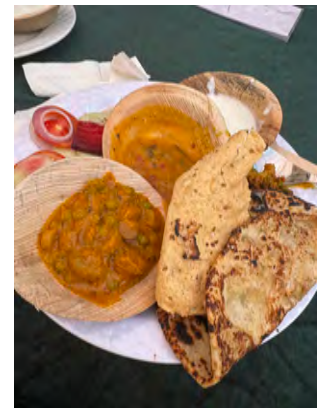
今日から二日間のシンポジウムです。今回も炭素隔離に関連したシンポジウムなのですが農学系のみならず、工学系、化学系の研究者も参加する会議になっていました。

一応、昨年の日本ーインドの二国間交流事業を受けた形になっているため、シンポジウムも大きくそのことが示されています。自分の講演の前にまたしても延々とお偉いさん達のありがたい話が続きます。ステージ上に座らせられていたのですが、何度も寝落ちしそうになってしまいました（バレてた）。

午前の最後に自分の発表。質問もたくさんいただき、ありがとうございます。お昼は会場にて。いつもとあまり変わらずにこんな感じです。お皿が木の皮のようなもので作ってあります。再利用はきいているのかな？あまりしっかりした作りではありませんが、プラの容器より気持ちが良いですね。カレー、ヨーグルト、チャパティ。

午後はポスターセッションの担当です。14課題を担当して点数評価をしなければなりません。学生の皆さんが発表をしているので、担当以外も含めて見てまわりました。学部生の発表もあって、実験の結果を紹介しているのかなと見ていたのですが、なんでもレビューだとのこと。数名いました。レビューをポスター発表するのなかなかのものですね。

ただ、レビューを延々と聞かされるのも辛いものがありました。質疑も噛み合わないです。みなさん、聞いてもらうことに躍起になっていて、他のポスターで話をしている最中に横から自分のポスターを聞きにきてくださいとかいうのもいて、難儀しました。さらには、ポスター発表のリストに名前がないのだが、空いているスペースに貼ったから聞いてくれというのまであり、結局3時間くらいずっとポスター会場で過ごすことになってしまいました。夜は歓迎パーティーが予定されていたのですが、Behl氏の逝去のために取りやめに。HAUの関係者の皆さんもほとんどいつの間にか帰っていました。やむなしですね。夕飯はあるということで、それまでの時間にAdeshiさん夫婦（昨年二国間でお呼びした方）が地元の市場に連れて行ってくれました。お二人が普段から使っている場所だそうです。スーパーで、お米やスパイス。



その後にはスイーツ屋さん。お店の前にある屋台でも現地の人に人気のおやつを食べました。ゴル・ガッパというもので、緑色のスパイスがたくさん入った液体につけたタイプとヨーグルト、ザクロなどを入れた酸っぱくないタイプがあります。両方食べて見ました。緑色は写真を忘れたのですが、どちらも美味しかったです。ここのお店では一応プラスチック製の手袋をつけて調理してくれましたが、以前行ったお店は素手でした。。。

スイーツは色々な種類
のものが並んでいて、
箱詰めにしていただき
ました。これを待って
いるのに屋台飯を食
べていたということ
です。たっぷりお土産を
ゲットしてホテルに一
度戻り、それから夕食
に出かけました。内林さんは最後のインド夕食ですね。最後の方は
ちょっと体調を崩したようでしたが、インドを楽しんでいただけたで
しょうか。ネットワークはこうやって作っていくものです。そうそう、
スイーツ屋さんにはサモサも売っていて一つを皆で分けて食べました。
中にはジャガイモが入っていて、これはさっぱりした味で良かったです。

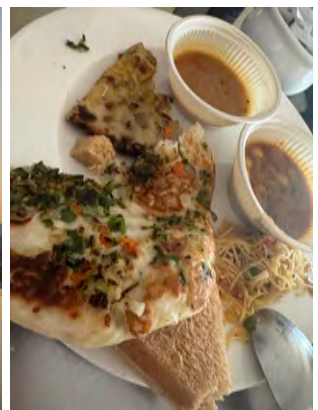
ホテルでは結婚式を行なっていて（3日間行うそうです。その初日）、
楽団もいたりとかかなり賑やかです。ホテルの支配人（大学の人）がぜひ
中をのぞいてくれということで、遠慮なく会場
に入らせていただきました。ヘナの絵を描いて
もらっている最中の花嫁さん、親戚の方々もお
られました。写真を花嫁と撮ってと言われて遠
慮なく。ご両親
も一緒に。

夕食は会場でい
ただきました。
22時少し前に
にホテルに戻り
ましたが、まだ
まだ宴は続いているようで賑やかな音が部屋まで聞こえていました。



11月7日 金曜日

二つ目のシンポジウム
も最終日です。今日は
同行の先生の発表があ
ることと、最後にポス
ター賞の授与式に参加
するのがメインの仕事
になります。ホテルは
左の写真のように立派
です。朝早くにホテル
の窓から見える寺院に

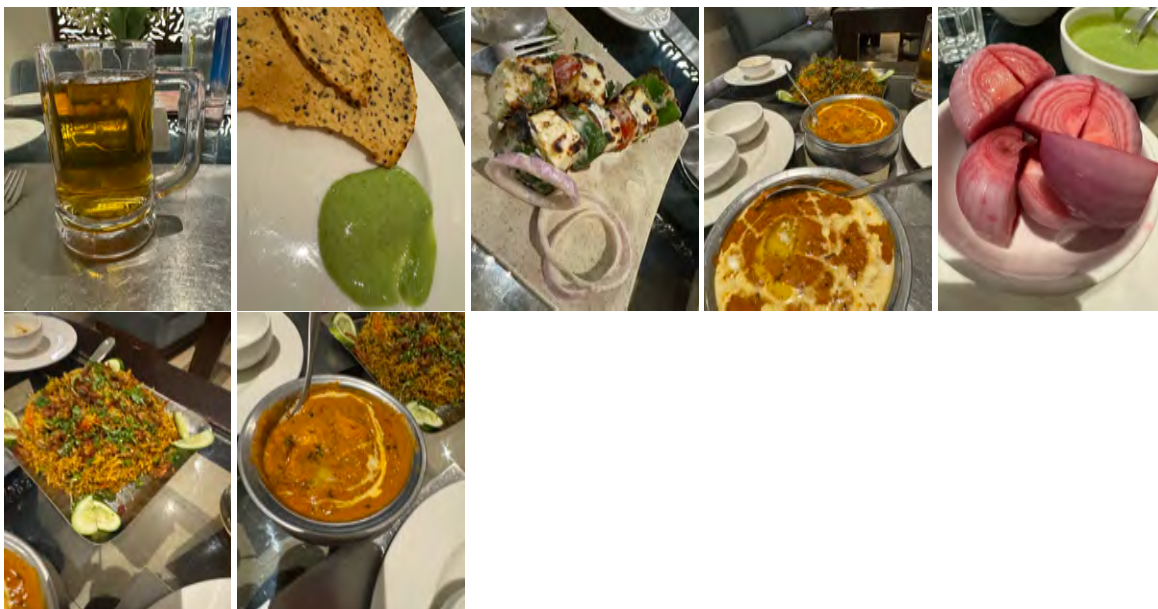


行ってみました。早朝から大きな音で音楽が流れています。湖の中にはシバ神がおられて、隣接した寺院の中も訪問させていただきました。入る前には靴を脱がなければいけません。

朝食は8時にホテル内で食べて、9時に集合とのことでした。実際に迎えが来たのは10時ですが、まあだいぶ慣れました。同行したPDはここでお別れです。少し早く日本に帰る用事があるので。さて、全てが遅れてスタートして終わりは同じというスタイルなのですが、最初の発表とかだどうしても焦ります。今回は同行の先生がまさにその状態でしたので、ご苦勞をおかけしました。午前中の発表を聞いていると大会の運営委員から呼ばれます。用務は参加者証やポスター賞などの賞状へのサインです。全部で350枚くらいありました。1時間以上かかって終了したら、ほぼ発表、ポスター発表も終わり、さて昼食と思っていたら、化学科の先生がどうしても相談をしたいということです。学内の電気カートに乗せられて向かったところは化学科の建物。会議室に通されて10名ほどの研究者との会議がセッティングされていました。要点はMOUを結べないかとの話なのですが、ただ契約を結びたいということで、研究の中身は噛み合わないの、こちらは農学なので現時点でのお互いの研究内容ではMOUは難しいこ

とをお伝えしてようやく1時間後に解放されました。それから昼食。その後に最後の表彰式です。夕方新しいホテルに移動する必要がある、そこに向かおうとしていたら、Hisarから追っかけてきたという研究者が会場までやってきて拉致されます。前のホテルに行き（荷物が預けてあります）、そこのロビーで打ち合わせになりました。要点は今回進めているHAUとのMOU（代表は同行の先生）の相手を自分達に変更して欲しいというような内容です。いや、それは無理ですよと言っても、同じ分野の研究者で自分たちの方が業績も多いし、Behlからも言われているとのこと。でなかなか引き下がりません。それでも何度も話を繰り返し、まずはHAUの方で話し合いをしてもらいたいこと。その上でMOU締結の段階で参画してもらうことは問題はないことなどを説明してようやく引き下がってくれました。最後は自分が Behl との色々な話をしばらくして、最後は握手して別れることができました。2時間近くかかったけど。

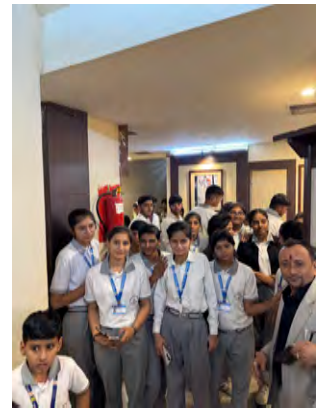
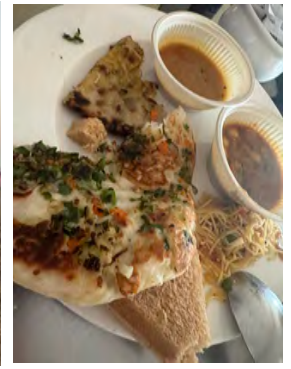
新しいホテルはMullanaから1時間ほど下ったところにあるSahaという場所でした。広い敷地に二階建ての建物が並んでいる場所です。フランス人研究者と我々2人。夕飯を3人でホテルの食堂で食べました。



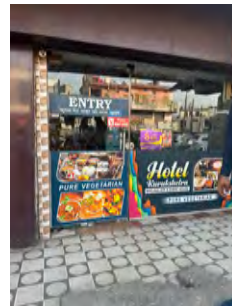
11月8日 土曜日

朝方近くの畑の周りを散策してきました。ちょうど馬鈴薯の植え付けからしばらく経った頃で、多くの圃場で馬鈴薯の芽が出ているのを確認できました。最初からしっかりと畝を作っているのは、場所によっては水が間に溜まっているので、土壌の特性などを考えた上でのことだと思います。終了は25トン/ha程度とのことでした。馬鈴薯の生産で問題になっているのはポストハーベストでの腐敗を引き起こす糸状菌が蔓延しているということでした。米国で同様の報告が以前にあったそうなのですが、インドでは最近蔓延していてゲノム配列などから新規の株だということでした。対応策はあるとのことでしたが、発生状況の把握（分布、条件など）などがまだできていないようでした。朝食はホテルで。いつもとちょっと違ってナンのような生地の上に野菜をまぶした料理がありました。

ホテルは、10時頃に出発しました。今日はSahaからさらに南に下ったKurushetraにあるKurushetra大学を訪問します。地域の歴史を紹介した博物館の見学をしました。まあ、内容よりはそこにきている小学生、中学生の集団から写真を撮らせてくれの連続で大変でした。何が面白いのか延々と続くので同行しているインドの研究者の方がここまでですよとか言ってくれていました。右の写真は写真を撮るために待っている学生たちです。写真撮影大会が終わると昼食です。街中の一般の人でも利用するレストランでした。美味しいんですよ。毎回変わり映えのしない料理ですが、味はお店によって



違うのでそれはそれで楽しめます。昼食の後は近くの公園にあるクリシュナとアルジュナの像を見学しました。この像はインドの古代神です。ね。ギーターの叙事



詩の一文が添えられていて（結果ではなく、要）、この場所は戦闘が実際に行われた場所けました。インドの皆さん、この話になるとものの考え方としてこの古代インドの考え方が今でも根付いているようです。授業でも使ってみようかなと考えています。実験結果ではなく、実験を行うそのことが大切??? インドの人が例を教えてくださいました。「旅行は目的地ではなく、旅行をしていること自体が大切なんだ」とのこと。



その行為が重
なんだと説明を受
熱がこもります。



途中でサトウキビジュース。氷は無し。四回ほど絞るのですが、途中でミントやライムを挟みま
す。さらに岩塩も加えて完成です。岩塩はなくても良いかな。最後にScience parkなる場所に連
れて行かれましたが、もう疲れ切っていて中のベンチで休憩をさせてもらいました。その後にホ
テルに戻るのですが、Science Parkで休んでいるとまた別のHAUの方から連絡があり、これか
らそちらに行くので(5時間かかるよ) あってほしい。Behlが残したウィスキーを持って行くので
一緒に飲みたいとのこと。。。いや。休みたい。最終日なので、帰国の準備もしたい。なので打
ち合わせがあるのであればメールでと伝えたところ、分かったと返事があり。了解したとのこと
でした。一安心してホテルに戻ると同行してくれたインドの研究者からこれから
その人が来るから待っていてくれと。。。へ？お断りして了解してもらった
んだけどと説明してもダメでした。少し休ませて欲しいとお願いをしてシャ
ワーを浴びて着替えたらずいぶん元気になりました。で、夕食を兼ねてと思い会い
に行くと、2人でCivas Regalの12年を抱えて現れました。やむなし。し
まった。氷を入れて飲んでしまいました。インドでは氷は気をつけるようにと
他の人に言っていたのに、自分が入れてははどうしようもないですね。美味
しいウィスキーでしたが、2時間ほどすると疲れがピークに。ちょうど一本空
いたところで部屋に退散させていただきました。案の定、PDや共同研究の話
をいろいろと言ってくるのですが、内容が伴わないとちょっと厳しいです。後から連絡をくれるよ
うにお願いをして部屋に戻りました。明日は10時に出発と言われました。洗顔をしてベッドに
入ってうとうとするとノックが。明日は8時半に変更とのこと。はい。了解いたしました。おやす
みなさい。



11月9日 日曜日

6時に花火。多分前日の結婚式のお祝いの残り物でしょうが、15分くらい
やっていました。3時半には起きていたので良いのですが、うるさい。8時
に朝食。軽く食べました。変わったものがあつたのでそれだけ写真を。
これはお米を潰して茹でたものだそうです。(茹でて潰したかな?) 押し
麦のような感じだったのでそんな感じで間違い無いでしょう。パサパサの
感じでこれはこれで美味しいかな。連日食べ過ぎです。今朝は忙しくて
(メールや書類) 散歩に行けませんでした。



なんと8時半ピッタリにお迎えがやってきました。荷物を運んで(重い。盾
とかが重い。でも捨てて行くのは気が引ける) 9時前には出発になりました。
お世話になった人たちもきてくれてお別れです。ありがとうございます

空港までは前回Mullanaまで送ってくれた助手の先生が同行してくれます。運転手は別にいる
のですが、激しい運転です。いつぶつかってもおかしく無いような運転ですが、いつの間にか寝
落ちてしていました。目が覚めると11時頃。休憩かなと思ったら昼食にしようということです。な
んでも助手の先生が来たかったレストランなんだということでした(気持ちはわかる)。



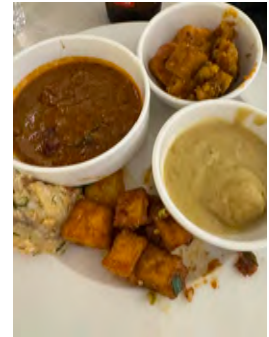
Pahalwanというのはイ
ンドのレスリング。Mr
レスリングというよう
な名前のお店です。名
前がわからないのです
が、Rotiの一種、真ん
中は南インド料理で中

にジャガイモなどが入っています。右はデザートのJalebi（小麦、思いつき甘い）。インドのデザートでは自分はJalebiが一番のお気に入りです。

空港までの道が特に混雑もなく、2時前には到着してしまいました。飛行機は1955なのでだいぶ待つ必要がありますが、ギリギリよりは良いですね。

高いCostaコーヒー（800円）を飲みながら時間を潰しています。

帰りもJAL便。助かることに3時間前にカウンターを開けてくれました。早速搭乗券発券、荷物預けを済ませて出国手続きでした。特に問題もなく、スムーズに出国。お土産を少し買って、ラウンジで過ごします。お土産は紅茶（高いけど美味しそう）と子供達にTシャツ。ラウンジの料理は美味しかったです。スパイスの効きもしっかりしているし。スただ、充電器（モバイルではない）を落としてしまい、そのためか電源が入らなくなっていました。困りました。PC本体からType Cの電源は取れますが、繋がないとならないのでね。もうすぐ帰国ですのでなんとかうまく切り抜けたいものです。



そうこうしているうちに時間も過ぎていき、搭乗ゲートの前に行きました。と、そこで知り合いの方とばったり。ちょうど南インドの調査から戻るところだったということでした。驚きです。飛行機は少し空席はあるものの、かなりいっぱいでした。隣の方がちょっと（とても）汗臭く、さらに大きなモニターのPCで作業や映画を遅くまで見ているので、明るくてかきませんでした。自分も気をつけないとです。そのため、機内ではあまり寝ることができず、困りました。早朝に到着する便なので、機内でよく休めれば便利な便ですね。羽田には定刻で到着。荷物も引き取ってさあ国内線に移動と思って連絡バスに乗ろうと思った時に、ちょっと前に別れたばかりの同行者から連絡が。盾とかが入っている自分の鞆がグルグルと回転台で過ごしているとのことでした。もしかして確信犯ですか？とのことでしたが、潜在意識でそうしたかったのかもしれませんが、いえいえ、そんな贈ってくれた方々に失礼なことはしません。単純に忘れてだけです。持ってきていただきました。失礼しました。

札幌へは夕方の飛行機ですが、荷物は先に預けておくことにしました。これでリュック一つで行動できます。今日は昼にサウジアラビアのビザ取得センターの予約を取っています。このタイミングで取得しておかないと月末にはサウジアラビアに行く必要があるのであまり余裕がありません。予約書には二次元コードで場所の案内もあり、当然それを信じて建物に行ったのですが、ありません???似た名前のビルは確かにあるのですが、該当する会社はないのです。改めて予約書の住所を確認するとそこではありませんでした。さらに歩いて7分ほどの場所でした。まあ、近かったし、時間にも余裕があったので大丈夫でしたが、しっかり頼みます。

さて受付で必要な書類の確認をしていたところ、申請書が一枚不足しているということで、それは現場で記載可能なものでしたので対応をしました。ところがしばらくすると、申請しているビザの種類が会議ビザなのですが、内容が政府ビザになるとのことです（サウジアラビアからの招聘状の内容）。簡単に変更できるのかなと思ったら、自分で行うのであれば今日は無理ですね。と。いえ、それは困る、なんとかならないですかと言おうと思ったところで、プレミアムラウンジに変更していただければ今日中に対応できますとのこと???余分にお金はかかる



とのことですが、背に腹は変えられませんので、そうすることにしました。別の部屋に案内されました。椅子も立派で、お茶なども置いてあってご自由にどうぞとのこと（何も取らなかったですが）。ここでは担当の人がいて、その人が書類を作成してくれます。それをお願いするためでした。お金も支払い（クレジットが使えました。ただし、VISAかmasterのみ）、早ければ今週中に返却できるということでした。返却は宅急便です。あとは問題なく、大使館がビザを発給していただければ完了です。1時間少しかかって作業は終了。いつの間にか外は雨が降っています。ビルを出ると入り口の隣にはインド料理屋さんが。雨宿りを兼ねてメニューを眺めていると中から店員さんが出てきて、どうぞと。スパイスの香りに誘われるように入っていってしまいました。豆のカレーとナン。インドで食べてきたのとは味はあまりスパイシーではなく、少し辛味と塩味が強いかななどとわかったようなことを考えながら、右手を使いながら綺麗に食べ終わりました。手を使って食べることは良いことなんだと教わったばかりです。そうかもしれない。羽田から札幌までは使用する機材の変更のおかげでクラスJにアップグレードしてくれました。快適ですね。座った瞬間に寝ていました。。。

